

2017年 第37回新報児童オリンピック少年サッカー大会

【大会要項】

- 1 趣 旨 沖縄県で学ぶ児童の健やかな成長を願い、各種スポーツ活動を通じて、児童の健全なる心身発達とスポーツの普及発展に寄与するものとする。
また、大会を通しサッカー競技の底辺の拡充を図るものとする。
- 2 主 催 八重山サッカー協会
- 3 主 管 八重山サッカー協会ジュニア委員会
- 4 表 彰 優勝及び準優勝を表彰する。
優勝及び準優勝チームは第37回新報児童オリンピック少年サッカー大会(県大会)へ八重山地区代表として派遣、推薦する。
- 5 大会期日 2017年6月11日(日)
- 6 大会会場 サッカーパークあかんま
- 7 参加資格 平成27年度に日本サッカー協会第4種登録されたチームで、傷害保険に加入し小学生4年生以下の児童で編成されたチーム
- 8 競技規則 ①2017年度(公財)日本サッカー協会の競技規則(JFA8人制サッカー競技規則)による。
但し細則については、ジュニア用として大会規定を定める。決定はジュニア委員会の内容による。
②チーム構成は監督1名、コーチ2名、選手20名以内とし、交代は12名までの自由な交代を適用する。(一度退いた競技者も再び出場でき、何回でも交代可能とす。)
GKの交代は、ボールがアウトオブプレーになった時、主審に通知し、主審の許可を得て交代を行う。
※選手の交代はフィールドプレーヤー・ゴールキーパーとも交代ゾーンから交代する。
③エントリー表は、試合開始30分前までに本部へ提出し、選手は10分前までに本部前に集合すること。
④フィールドサイズ：縦60m～横40mとする。
ペナルティエリア：12m、ゴールエリア：4m、センターサークル：半径：7m
ペナルティマーク：8m、ペナルティーアーク：半径7m、
コーナーアーク：1/4円ラインの半径1m、
ゴールの大きさ：ゴールの内のり縦2.15m×5m(少年用)、丸型、角型、簡易用ゴールも可とする。
- 9 試合方法 ①
②試合時間は予選リーグ・決勝トーナメントとも15分-5分-15分とする。
予選リーグの順位決定方法は『勝ち点制』を採用
(勝点、得失点差、総得点、当該チーム間の対戦結果、抽選の順で決定する)
勝：3 引分け：1 負：0
トーナメント戦にて勝敗が決しない場合はPK方式(3名ずつ)を採用する。
③フリーキック：相手競技者は7m以上ボールから離れる。
④コーナーキック：ボールがインプレーになるまで、相手競技者は7m以上ボールから離れる。
⑤ボール(試合球)は4号球とする。
⑥競技者は8人(内1名はゴールキーパー)とし、5人以下となった場合は0-5の負けとする。

- 10 審 判 ①審判は帯同審判を採用する。参加チームは審判員(有資格者)2名を選出する。
②審判を行う者は、審判証の提示及び審判着(ワッペン含む)の着用をぎむづける。
③決勝トーナメントに関しては本部にて調整を行う。
④審判は、予選リーグは1人制、決勝トーナメントは3人制を採用する。
- 11 参 加 料 5000円を当日本部へ支払いを行うこと。
- 12 監督会議 平成29年6月1日(木) あやばにボウル会議室
- 13 ユニフォーム ①各チームは、色彩が異なり判別しやすい正・副2組のユニフォーム(ゴールキーパーもフィールドプレイヤーと異なる色彩の正・副2組)を準備すること。
(GKのケガなど緊急時に対応する場合のGKユニフォームは、FP副使用、色彩が同じときはビブスの着用も可能)
②背番号は選手固有の登録番号を付し、判別の明確な色彩及びサイズであること。
③ユニフォームの色彩は、審判の通常着用する黒色と明確に判別しうるものでなければならない。
- 14 ベンチ ①ベンチ(エリア)には、チーム関係者(監督・コーチ(父母も可)・登録選手)以外は入れない。
ベンチ入りしているエントリー選手は、フィールドでプレーしている色彩と異なるヴィブスやジャージ等を着用すること。
②試合終了後は速やかにベンチ(エリア)を空けること。
- 15 懲罰規定 ①次の選手は、次試合(1試合)を出場停止とする。
・同一試合で警告を2度受けた選手及び退場処分を受けた選手。
・本大会累積警告が3枚の選手。
②レッドカードでの退場選手に関して、悪質な違反の場合は大会規律委員会とジュニア委員会にて裁定する。
- 16 その他 ①ケガについては各チームにて応急処置を行う。
②傷害保険については、各チームで加入すること。
③使用する施設・設備を大切にし、マナーを厳守すること。
④貴重品の管理・ゴミの持ち帰りは、各チームの責任で行う。
⑤給水タイムについては、大会当日の天候により主審の判断にて行う。